

## イムデトラの治療をお受けになる方へ

### ★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	8日目	15日目	16~28日目
アレルギー予防 <sup>※1</sup>	 30分	 30分	お休み	お休み
イムデトラ <sup>※2</sup> (タルラタマブ) mg	 1時間	 1時間	 1時間	お休み
生理食塩水 <sup>※3</sup> (生理食塩水) 1 L	 4時間	 4時間	 4時間	お休み

※1：1サイクル目のday1,8のみ。Day15以降はなし（生理食塩水50mLを5分投与）

※2：2サイクル目からは隔週（day1,15）

※3：1サイクル目のday1,8,15のみ。2サイクル目からはなし（生理食塩水50mLを15分投与）

### ★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

#### 〈血液検査からわかる副作用〉

##### 白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

##### 貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

##### 血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などがおこりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

#### 〈ご自身でわかる副作用〉

##### サイトカイン放出症候群（CRS）

T細胞の活性化に伴い放出されるサイトカインという炎症物質により引き起こされます。発熱、倦怠感、吐き気、胃のむかつき、脱力感、呼吸苦、めまい・ふらつき、低血圧などの症状が出ることがあります。

⇒早期発見が大切です。このような症状がみられたら医師や看護師に伝えて下さい。

##### 神経学的事象（ICANSを含む）

神経学的事象（ICANSを含む）はCRSで產生されたサイトカインが中枢神経（脳）に作用するなどが原因で起こると考えられています。力が入らない、言葉が出ない、ふるえ、けいれん、眼気、意識の低下などの症状が出ることがあります。

⇒このような症状がみられたら、すぐに医師や看護師に伝えて下さい。

##### 悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

##### 味覚不全

味やにおいの感じ方が変わることがあります。そのために食欲や食事の量が減り、栄養が不足することがあります。

⇒味やにおいが変わったら、スタッフに相談して下さい。

##### 疲労

がんの治療中によくみられる症状です。自分のペースで生活する、楽な姿勢で休む、少しずつこまめな休息をとる、などの工夫で疲労が回復しやすくなります。

##### 発熱

サイトカイン放出症候群（CRS）や感染症により出現する可能性があります。

⇒発熱があったらすぐに医師や看護師に伝えて下さい。



##### ★すぐに連絡をいただきたい副作用

★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）

★「しゃべりにくい」、「力が入らない」、「ふるえ」、「けいれん」、「意識の低下」（ICANS：神経学的事象）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。